

令和5年度 福祉子ども部の運営方針

部	福祉子ども部	部長	森口 秀樹
---	--------	----	-------

【基本方針】

「安全で安心して健やかに暮らせるまち」を実現するための関係する取組を政策目標とします。目標を達成するため、支援を必要とする市民一人ひとりのニーズを的確に把握しながら、障害者、妊婦や子育て世帯など誰もが、身近な地域で不安なく自立して暮らすことができるまちを目指し、生活困窮世帯の自立支援、障害者の自立支援、妊娠期から子育て期までの伴走型支援、福祉サービスの質の向上と確保等、多岐にわたる課題に対し、部内連携体制を強化しつつ、総合的に取り組みます。

【重点目標】

1	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	地域福祉	令和5年度 達成状況
	地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進					B
2	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	障害者福祉	令和5年度 達成状況
	障害の有無にかかわらず、誰もが個人として尊重される共生社会への取組の推進					A
3	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	子育て支援	令和5年度 達成状況
	妊娠期から子育て期における切れ目のない支援の充実					B
4	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	子育て支援	令和5年度 達成状況
	放課後児童会待機「ゼロ」の継続と安定した運営					A
5	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	子育て支援	令和5年度 達成状況
	保育環境の充実と入所枠の適正化					B
6	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	地域福祉	令和5年度 達成状況
	福祉サービス事業者の健全かつ適正な運営及びサービスの質の確保					A

【達成度について】

- A：達成（目標を達成することができた。100%）
- B：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
- C：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
- D：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
- E：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

部	福祉こども部
---	--------

重点目標 1	地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進
--------	----------------------

今年度の達成目標		達成状況	達成度
地域住民が集える社会的居場所づくり事業の取組を推進します。	→	社会的居場所づくり事業補助金の交付団体は前年度から1団体の減となりましたが、新たに活動を検討されていた団体が令和6年度からの活動開始に至りました。	B 概ね達成
今年度の達成目標		達成状況	達成度
各相談機関の横のつながりを強化し、包括的支援を推進します。	→	各相談機関の協働を推進するとともに、複雑化・複合化していく相談に対応するための、重層的支援体制を令和6年度から構築していく準備を整えました。	C 一部達成

具体的取組		具体的な取組実績
孤立化しやすい高齢者や子どもの社会的居場所を充実させるため、新たに社会的居場所づくり事業に取り組む団体を増やすための取組を実施します。	→	令和5年度は「子どもや高齢者の集まりの場」「地域交流サロン」などを開催する3団体に対して活動補助を行うことで、社会居場所づくりの推進を図りました。また今後居場所づくりに係る活動を検討されている団体に対し相談・助言等を行いました。
所管室・課	福祉総務課	
具体的取組		具体的な取組実績
複合的な生活困窮相談において、相談支援体制の連携強化を図るため、CSWを中心とした相談窓口体制を構築します。	→	高齢者・障害者・こども・生活困窮者という対象者別の専門的なサービスの提供の中で「制度の狭間」といった課題を解決するための検討を図り、対象者の属性を問わない相談支援体制の構築に向けた協議を行いました。
所管室・課	福祉総務課	

総合評価・総括	全体の達成度
高齢者、障害者、こども、生活困窮者という対象者の属性を問わない相談支援を行うため、関係部局の連携を図るとともに、それぞれ分野ごとに複雑化している課題を共有し、それらの課題解決に向けた取組を図りました。また、社会的居場所づくりの活動を支援している団体を支援することで、団体が活動しやすい環境の推進を図り、自宅以外に居場所がないと感じている方が安心して過ごせる場所の確保に努めました。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
生活困窮などに係る相談件数は今後増加していくことが見込まれます。関係機関の連携を強化し、これまで以上に相談者に寄り添った支援ができる体制整備を行う必要があります。また、様々な要因で地域社会との繋がりが薄い方の社会参加を支援するための取組を継続していくことが重要となります。

部	福祉こども部
---	--------

重点目標 2	障害の有無にかかわらず、誰もが個人として尊重される共生社会への取組の推進
--------	--------------------------------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
「第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画」の最終年度として、成果目標及び活動指標を達成するとともに、障害者施策の充実に向け、次期計画を策定します。	実態とニーズ等の調査等を踏まえ、策定委員会における活発な議論を行い、令和8年度までの障害福祉サービスや相談支援体制等の成果目標やサービス見込量を示す活動指標を定めた次期計画を策定することができました。	A 達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
「柏原市障害者計画」が掲げる基本目標である、障害のある人が住み慣れた地域で安心して自立した生活がおくれるまちを目指し、生活支援サービスの充実を図ります。	日常生活用具の給付品目として、聴覚障害者の情報支援として人工内耳用電池と、在宅療養等の支援として人工呼吸器用自家発電装置（又は外部バッテリー）を追加しました。また、スポーツや季節のイベントを通じて、障害者の日常生活の充実につなげることができました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
第5次柏原市総合計画が掲げるインクルーシブな社会の構築を目指し、現計画の進捗状況や社会的ニーズの変化を反映させながら、市民アンケート及び事業所等へのヒアリングを実施します。	市内在住の障害者手帳所持者や障害者サービス利用者1,000人に対する市民アンケートや市内の障害福祉関係事業所25か所、障害者関係団体4団体へのヒアリングやアンケートを通して、現状の把握やニーズ調査を実施しました。計画策定委員会を4回開催し計画案を作成し、大阪府のヒアリング、障害者自立支援協議会の意見聴取も経て、最終案を報告しました。
所管室・課 障害福祉課	
具体的取組	具体的な取組実績
障害のある人がより円滑に安心して日常生活を送ることができるよう、日常生活支援用具等の生活支援サービスや日中活動の場の充実を進めます。	他市や先進市の日常生活用具に関する調査を参考に、本市の日常生活支援用具の実施要綱の見直しを実施しました。また、障害者が充実した余暇活動を送れるよう、基幹相談支援センターにおいてボッチャ等の障害者スポーツの体験会やハロウィンイベント、柏原市自立支援協議会の部会活動においてバレンタインイベントを開催しました。
所管室・課 障害福祉課	

総合評価・総括	全体の達成度
障害者自らが参加し活動できることを目的としてスポーツや余暇活動のイベントを開催することで、第5次柏原市総合計画にも掲げる障害者の社会参加活動への支援を進めることができました。また、計画策定を通じた調査において本市の現状を理解し、一定ニーズが認められた事案を検討課題として「第7期障害福祉計画」と「第3期障害児福祉計画」を策定できたので、今後の障害福祉サービスや支援体制の構築の目標・指標として取り組んでまいります。	A 達成

今後検討すべきこと
障害者の自立を促進するため、日常生活用具等の給付費目や価格の見直しを継続して行ってまいります。また日常生活の充実や社会参加促進のため、障害者の余暇活動として参加できる場を定期的に開催できるよう検討してまいります。

部	福祉こども部
---	--------

重点目標 3	妊娠期から子育て期における切れ目のない支援の充実
--------	--------------------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
すべての子どもとその家庭及び妊産婦等が、切れ目のない支援を継続して受けることができる環境の充実を図ります。	妊娠期からの伴走型相談支援の実施に伴い、妊娠届・妊娠8か月・出生届・生後2か月児の全戸訪問、乳幼児健診へと切れ目のない支援体制が構築できました。	B 概ね達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
支援の必要な妊婦及び子育て世帯の把握に努め、児童虐待の発生防止及び早期発見のため、相談支援の充実をはかります。	相談支援の充実を図るため、定期的な会議や関係機関との個別ケース会議を必要時開催することができました。	B 概ね達成

具体的取組	具体的な取組実績
妊娠期からの伴走型相談支援の実施及び乳幼児健康診査や訪問指導において切れ目のない相談支援を実施します。	妊娠届出時面談を401件、妊娠8か月面談を352件、出生時面談を379件、乳児早期訪問（乳児全戸訪問）を387件行いました。 また、乳幼児健康診査を行い、受診率は4か月児健診が98.5%、1歳6か月児健診97.0%、3歳6か月が94.3%でした。3歳6か月児健診において新たに屈折検査の実施しました。
所管室・課	こども家庭安心課
具体的取組	具体的な取組実績
一体的相談支援機関である「こども家庭センター」の設置に向けた周辺環境の整備や専門職の適正配置などの準備を進めます。	児童家庭相談システムを導入し、主な連携先である保健センターと教育委員会にも配置しました。また、こども家庭センター設置に係る備品の購入により相談室の環境整備を行い、虐待対応専門員を1名配置しました。 各種会議の開催につきましては、個別ケース会議を85件、要対協実務担当者会議を12回、養育支援訪問事業会議を12回開催しました。
所管室・課	こども家庭安心課

総合評価・総括	全体の達成度
児童虐待の発生防止及び早期発見のため、妊娠期から面談や訪問、健診など対面での支援体制の充実をはかることができました。また、個別ケース会議についても関係機関と連携し、必要時に開催することができました。児童家庭相談システムについては、導入は出来ましたが、更なる効率的な運用に向けた改善を進めていきます。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
こども家庭センターの設置に伴うサポートプランの作成・活用など、母子保健と児童福祉の連携方法について検討を行います。また、児童虐待の発生防止・早期発見及び支援には、継続的なきめ細やかな支援が必要であることから専門職の配置を含めた支援体制の検討をしていきます。

部	福祉こども部
---	--------

重点目標 4	放課後児童会待機「ゼロ」の継続と安定した運営
--------	------------------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
放課後児童会への入会希望児童をすべて受け入れ、待機児童「ゼロ」を継続します。	待機児童を出すことなく、希望する全ての児童が入会することができました。	A 達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
子どもたちが安全で安心して生活ができる「居場所」としての放課後児童会のサービスの向上を図り、安定的な運営を目指します。	学習や遊びの広がりを実現する新たな事業を実施し、放課後児童会のサービス向上につながりました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
児童会施設の老朽化に伴う修繕等を行うとともに、入会児童数を踏まえて学校の余裕教室等も活用できるよう、学校と協議を進めます。また、指導員について、ハローワークと連携した採用活動による人材の確保を行うとともに、スキルアップのために持続性のある専門研修を実施します。	各学校の児童会施設の修繕対応に加え、堅下北小学校のプレハブ教室1棟を特別教室に移転するための改修工事を行い、令和6年度からの校舎内教室への移転を実現しました。また、採用活動については、ハローワークと連携した面接会を3回実施し、面接により新たな人材を確保するとともに、専門研修も実施しました。
所管室・課 子育て支援課	
具体的取組	具体的な取組実績
放課後児童会が学校生活の延長ではなく、日常の「遊び・生活の場」として過ごすことができるよう、ハード面だけでなくオンラインプログラムを活用した新しい取組を行うなど、児童が興味を持って楽しく過ごせる環境づくりを進めます。	企業版ふるさと納税による寄附を活用させていただき、オンラインプログラムを実施できる環境の構築とプログラムを導入し、実際に各児童会において実践しました。これにより、子どもたちに新たな体験を提供でき、児童会における学習や遊びの幅が広がりました。
所管室・課 子育て支援課	

総合評価・総括	全体の達成度
放課後児童会に入会する子どもやその保護者が安心して通会できるよう、老朽化した施設の修繕やプレハブ教室を1棟、小学校の特別教室に移転するよう進めることができました。また、オンラインプログラムを実施できる環境を整備し、他校の放課後児童会と交流を図るなど新しい取組を行い、子どもの体験の幅を広げ、より楽しい「居場所」づくりを進めることができました。	A 達成

今後検討すべきこと
老朽化している放課後児童会施設の修繕等を順次進めていく必要があるとともに、オンラインプログラムを活用した取組も継続して進め、児童の体験や経験の場を広げる「居場所」としてより一層充実させていくよう努めます。

部	福祉こども部
---	--------

重点目標 5	保育環境の充実と入所枠の適正化
--------	-----------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
保育施設の給食の安定供給を目指し、令和6年度から全ての公立こども園、保育所において自園調理を開始できるよう準備を進めます。また、児童の安全確保や保護者の利便性向上に繋がる取組を推進します。	令和6年度からすべての公立こども園、保育所において自園調理を実施する準備が整いました。また、民間保育施設のICT化や施設整備等に対する助成を行うことで、保育環境の充実を図ることができました。	A 達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
年度当初の待機児童ゼロの達成を目指し、入所枠の適正化を図ります。	国の定義による年度当初の待機児童はゼロとなったものの、すべての入所希望に沿うことができませんでした。	C 一部達成

具体的取組	具体的な取組実績
公立2施設の調理室改修工事を実施するとともに、調理業務を実施する事業者の選定を行います。また、登降園システムの導入や保育環境の充実に向けた施設整備を実施する民間施設に対し、国の交付金等を活用した助成を行います。	令和5年度はこくぶこども園及びたまてこども園の調理室改修工事が計画どおりに完了するとともに、給食調理業務を実施する事業者を決定しました。また、登降園システムを導入した民間保育園2施設、大規模改修工事を実施した1施設に対し助成を行いました。
所管室・課	こども施設課
具体的取組	具体的な取組実績
保育ニーズの把握に努めると共に、民間保育園等の保育士確保の取組に対する助成を継続するなど、保育人材の確保に努めることで入所枠の適正化を図ります。	公立施設では、ハローワークや市広報誌、SNS等を活用して保育士の募集に努めると共に、民間施設の保育士確保の取組に対する助成を継続しました。また、第3期柏原市子ども・子育て支援事業計画の策定準備として、約2000世帯に対し、教育・保育や子育て支援事業に関するアンケート調査を実施し、ニーズの把握を行いました。
所管室・課	こども施設課

総合評価・総括	全体の達成度
自園調理開始に向けた取組については、公立2施設の調理室改修工事が完了し、当初の計画どおり、令和6年度からすべての公立保育施設で自園調理を開始する準備が整いました。保育士確保の取組については、民間保育園に対する助成を継続しましたが、一部の民間園で保育士の退職者が一定数出たことから、年度当初の入所枠拡大にはつながりませんでした。また、待機児童については、国の定義による待機児童数はゼロとなったものの、すべての入所希望に沿うことはできませんでした。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
就学前児童数が減少する一方で、保育ニーズは増加傾向が続いています。令和5年度に実施しました教育・保育や子育て支援事業に関するアンケート調査の結果を元に今後のニーズ量を算出し、令和6年度に策定いたします柏原市子ども・子育て支援事業計画において、今後の提供量と確保方策について示してまいります。

部	福祉こども部
---	--------

重点目標 6	福祉サービス事業者の健全かつ適正な運営及びサービスの質の確保
--------	--------------------------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
福祉サービス事業者の健全かつ適正な運営及びサービスの質の確保を図ります。	→ 集団指導、実地（運営）指導を行い、事業者の健全かつ適正な運営及びサービスの質の確保を図りました。	A 達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
福祉サービス事業者が適正に運営できるよう、必要とする情報を迅速に提供します。	→ 事業所が必要とする情報を、迅速にオンライン等で提供しました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
関係法令等に基づき、事業者に対し、集団指導、運営（実地）指導等を実施します。	→ 集団指導については、事業者への効率的な周知を図るため、オンライン講義（YouTube動画視聴）形式で行いました。 実地（運営）指導については、計画通り行いました。
所管室・課 福祉指導監査課	
具体的取組	具体的な取組実績
事業運営に必要な情報をホームページ等で発信します。	→ 報酬関係、届出関係や研修案内等、事業運営に必要な情報をメールやホームページで事業者へ発信しました。
所管室・課 福祉指導監査課	

総合評価・総括	全体の達成度
計画通り、集団指導と実地（運営）指導を行い、事業者の健全かつ適正な運営及びサービスの質を確保しました。	A 達成

今後検討すべきこと
事業者による福祉サービスが、さらに良質なものとなるように、指導等を行っていきます。